



わたしたちのめざす目標

🕒 最終目標

本基本戦略は、
ジェンダーギャップに起因する転出を減少させ、
**三重県が若者や女性に選ばれる地域となることを
最終目標**としています。

🕒 課題

「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」は男女格差やジェンダー平等を示すものであり、重要な指標の一つですが、一方で指標が「フルタイム」を前提としているなど、三重県がめざす「多様な働き方」などが反映されていません。

🕒 対応事項

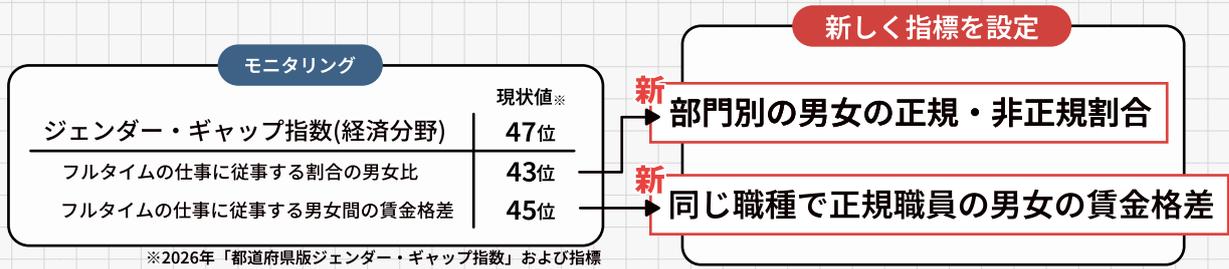
このことから本基本戦略においては、「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」は基本指標としてモニタリングしていくこととし、**三重県のめざす方向性の進捗を図るために必要な重要指標、サブ指標を設定**します。

具体的な指標は次のページへ





ジェンダーギャップ解消に向けた主な指標



戦略1) アンコンシャス・バイアスの解消等の意識変革

重 …… 重要指標
サ …… サブ指標

種別	施策の方向の目標項目	現状値 令和 6 (2024)年度	目標値 令和 8 (2026)年度
重	性別による固定的な役割分担意識を持つ県民の割合	16.2%	15.0%
サ	県立高等学校においてライフプラン教育に関する取組を実施した割合	100%	100%
新/サ	三重県のジェンダーギャップ解消に向けた取組に賛同する企業・経営者の数	—	—

戦略2) 働き方の多様な選択肢の提供

種別	施策の方向の目標項目	現状値 令和 6 (2024)年度	目標値 令和 8 (2026)年度
重	女性活躍の推進のため人材育成・登用や職場環境整備に取り組む、常時雇用労働者数100人以下の団体数	496団体	546団体
重	多様な就労形態を導入している県内事業所の割合	89.7%	92.1%
新/重	評価制度を導入している県内事業所の割合	—	—
サ	長時間労働対策に取り組んでいる県内事業所の割合	87.9%	95.0%
サ	年次有給休暇の取得促進に取り組んでいる県内事業所の割合	92.5%	95.0%

戦略3) 両立支援を支えるケアサービスや制度の充実

種別	施策の方向の目標項目	現状値 令和 6 (2024)年度	目標値 令和 8 (2026)年度
重	保育所等の待機児童数	108人	0人
重	放課後児童クラブの待機児童数	54人	0人
重	男性の育児休業取得率	32.7%	57.0%
新/重	男性の育児休業取得日数	—	—
新/重	仕事と育児・介護を両立できる環境整備に取り組んでいる県内事業所の割合	—	—

※目標値について：

新規の項目については、今後実施予定の調査の結果等を踏まえて設定。令和9（2027）年以降の目標値については、今後「三重県男女共同参画基本計画」の実施計画で検討。